

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 評価を踏まえた改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			集団療育室・個別室を設け、活動内容や人数により、部屋を使い分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人数に応じて、指導員を配置している。保育士・児童指導員・介護福祉士等の有資格者を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		転倒防止や最低限のバリアフリー化に努めているが、改善点はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画の内容に沿ってミーティングや情報の共有をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者参加交流会の実施の際に、アンケートや聞き取り調査を行えるようにしたい。(年に2回)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			使用頻度が多く、目に付きやすいよう、SMS・通信にて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人内で検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の職場外研修と内部研修を実施。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方との面談を実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が原案を作成し、意見を求めながらプログラムの作成をしている。月のプログラムを保管しているため、確認しながら重複しないように気を付けている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			(ニーズが高い活動やSSTは、毎月設定)
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇は、社会性トレーニングとして、外出活動に取り組んでいる。療育時間のバランスを考え、プログラム作成・目標設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別にそれぞれ適切な目標設定をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			AM・PM時と2度打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後、1日の引継ぎを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			報告書や日誌の様子欄にて、情報把握をしている。打ち合わせ時に、特記の報告をしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者の方とのコミュニケーションを図っていきながら、情報共有を行っている。 (来所や訪問の場面も作っていく)
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		事業所と学校との連携が必要不可欠である。より関係性を深めていく事が課題である。(学校と利用児童の共有等)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の受け入れ実績がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	放デイ卒業から、就労支援への引継ぎ実績がない。(31.3月末に初めて引継ぎを行う)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	利用者兄弟が参加する行事は実施している。地域の児童参加可能なイベントの実施などは、アンケートの実施でニーズが高い場合には実施を検討する。(個人情報の兼ね合いもある為)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		支援状況によって、参加出来る場面と出来ない場面がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に、当日の様子を伝えると共に、定期的な面談時に相談し合っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用にあたり、事前に面談の場を設け、契約書・同意書・重要事項を説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会の開催を検討していたが、実施に至らなかった。(交流会は、2度実施) 31年度は、1~2回実施予定

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報の発行や活動時の様子を通信にて周知している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			面談時に、写真・名前の掲載の有無を確認し、保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域を巻き込んだ活動は行えていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員での周知・シミュレーションを研修時に実施。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回訓練実施。(消防立ち合いあり)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に4回以上の研修会の実施を予定している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の可能性のあるお子様に対して必要性や要件等の説明を実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			家庭からもアレルギーの有無の確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			